

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		一般社団法人どりーむらぼ 児童発達支援・放課後等デイサービスいっばい		公表日		2026年 3月 24日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・国の基準以上の広さを用意しています。集団活動が行えるよう、指導員の目の届く死角のない一つの空間です。	・引き続き、安心・安全な環境づくりを心がけていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・必要に応じて、従業員の増員をしたり、減少させたりしている。 ・大人の数が多き時には声かけしてなるべく刺激を与えないような数に調整している。 ・保育士、公認心理士など児童分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・児童がわかりやすい配慮しています。また活動時には玩具を片付けるよう工夫しています。建物の構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状ですが、より安全に配慮いたします。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・子供たちに合わせた空間づくりを来所前に行っている。 ・毎日の清掃、消毒を行い清潔さと心地よさの維持を心がけています。活動スペースは1つですが、目的に使用できるよう工夫しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	・個別の部屋はないが、パーティションで空間を区切れるようにしている。 ・個室はない。パーティションで空間は区切る。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・目標設定と振り返りのサイクルを心がけ、現状把握、課題の抽出、業務の見直しを図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・ホームページで評価、公表を行っています。引き続き検討、改善につなげていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	・「全員で」という場はない。 ・現場スタッフでの振り返りは行っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・今年度外部評価を受けました。また、保護者の見学を常時可能にすることで、外部の視点や意見を聞く機会を設けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・外部研修に参加することで支援の質を高めるよう努めています。 ・職員それぞれの専門性の研鑽を奨励しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2	・必要なお子さんにはご連絡を入れている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・適切なアセスメントができるよう、お子さんと保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で、支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	・お子さんに関わる職員が共通理解を図るため、ミーティングを開催し情報共有を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・ミーティングでの情報共有を行うとともに、職員が支援計画をいつでも確認できるようにしています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・外部機関で実施された検査結果で発達状況を把握し、支援計画の作成に活かしています。 ・適宜保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い支援計画を作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・地域交流について、買い物に行ったり、郵便局のイベントに行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・日々の流れをみながら複数の職員がプログラムの立案に参画し、全体で把握したり修正したりしながら行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・運動・アート・調理などさまざまなテーマで活動を設定しています。また、内容は発達に応じて変化させています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・ひとりひとりの発達にあわせて、個々の課題と集団適応・社会性の課題を支援計画に入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・子どもの様子やプログラムの流れ、役割分担や支援方法、配慮点を確認し支援しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・きっちりの時間は設けられていないが、掃除等をしながら共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・日々の支援について個別記録を徹底して、次の支援につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・ことばだけでなく視覚的支援を行い、本人が理解できる形で見通しをもてる工夫をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・他機関からの紹介に応じて支援を行う体制を整えています。また関係機関と連携し支援方法について共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1	・必要な時のみ、保護者の方を通じて連絡・連携をとる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・移行支援シートのお渡しなど行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	・まだそのようなお子様がいない。 ・まだ実例がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・親御様に日々フィードバックをする機会がある。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・個別にお話しするようにしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成しています。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・児発管・療育リーダーが受けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4		・保護者会は定期的に開催している。 ・保護者会を開催し保護者同士の交流の機会を保障しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・電話や面談で迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明しています。	・引き続き迅速な対応に努め、相談支援体制の周知を図ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	1	・必要に応じて連絡事項などの情報を公式LINEを活用し発信しています。	・今後も発信について工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・個人情報が記載された書類などはキャビネットにて保管しています。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・可視化(イラスト・写真・タイマー)視覚支援的教材を使うなど伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしています。その日の活動内容をホワイトボードに記載し表示しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	・おまつりや発表会などの行事は設けておりませんが、事業所として地域の関係機関の職員が見学するなど、地域に向けた事業運営を図っております。	・今後も地域に開かれた事業運営を工夫してまいります。
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・訓練はしているが、親御さんにどこまでマニュアルが周知できているかわからない。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	2		・BCPについて、職員や保護者に対してさらに周知してまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・フェイスシート、体験時の問い合わせで必ず聞いている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・アレルギーホットラインを掲示している。	

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・安全計画について、さらに周知を図ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4			